

「牛乳は生きている」小学校向け活用教材の内容について

1. 趣旨

本教材は、小学校の給食時の短時間指導や教科・領域の授業等で、子どもたちが毎日給食で飲んでいる身近な牛乳を学校での食育活動に活用されることを目的に、小学校での食育活動の実態にあわせて教育研究者の協力で作成した食育教材です。

2. 教材の内容

内容は、牛乳の味や匂いなどの風味から、牛乳と「自然」や「いのち」とのつながり、さらに新鮮でおいしく安全な牛乳を飲んでもらうためにまでに「かかわる人たちの仕事への工夫や努力」について学習を深める内容となっております。

3. 制作等

企画・制作：一般社団法人 J ミルク

監修：藤本勇二・武庫川女子大学専任講師

写真協力：一般社団法人中央酪農会議、編集協力：有限会社オフィスレポート

<監修者略歴>

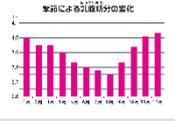
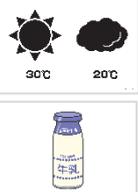
1962年(徳島県出身)。徳島大学教育学部卒、鳴門教育大学大学院修士課程修了。

専門分野は生活科教育、初等理科教育、ESD(持続可能な開発のための教育)。研究内容は、カリキュラム開発や食育研究など。長年、徳島県の小学校教諭として地域の暮らしとのかかわりを重視した教育活動を実践。特に、食を題材とした教育活動の重要性に着目し、数々の食育プログラム開発を行う。2010年4月より現職。2009年、文部科学省「食に関する指導の手引き」作成委員、2013年同「今後の学校における食育の在り方に関する有識者会議」委員、2014年同「スーパー食育スクール事業選定委員会委員」のほか、2012年より兵庫県学校食育実践検討委員会委員。

学会等所属：日本理科教育学会、日本食育学会、日本生活科・総合的な学習教育学会、日本環境教育学会、乳の学術連合・牛乳食育研究会会員。主な著書に「学びを深める 食育ハンドブック」共著(学研)、「ワークショップでつくる一食の授業アイデア集」(全国学校給食研究協会)、「伸びる食育・牛乳編」共著(Jミルク)など多数。



4. 教材概要

<p>対象 学年</p>	<p>小学校 3～4 年生</p>	
<p>関連 教科等</p>	<p>特別活動(学校給食等)、社会科、総合的な学習の時間等</p>	
<p>使用 場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食時の短時間での指導や、教科等と関連付けた授業内などで活用することができます。 牧場体験や牛乳工場の社会科見学の際に、学校や家庭での事前や事後学習などにも活用いただけます。 	
<p>使い 方</p>	<p>授業等で使用する資料は、大きくわけると以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 児童が調べ学習などで使用する「児童用資料」 ✓ 教師が児童に示して使用するグラフや図などの「提示教材」 <p>※教材の展開方法は「<u>教師用解説書(A4版モノクロ)</u>」を参照。</p>	
<p>資料 構成</p>	<p>①教師用解説書 (A4版4頁モノクロ) ※本教材を学校教職員が、授業等で使用する際の指導案を盛り込んだ教材の使い方を示した解説書</p>	
	<p>②「牛乳は生きている」 (A4版32頁カラー) ※平成26年に「味覚の基本と牛乳の特性」について専門家の協力で制作。教師用の参考資料としてご使用ください</p>	
	<p>③提示教材 □「乳脂肪分の年間変動」グラフ (A3版カラー×2) ※折れ線と棒グラフは学習進度に合わせて選択使用</p>	
	<p>□「シルエット絵カード」(A4版モノクロ×4) □「食品絵カード」(A4版カラー×8) ※牛乳ビンやパックの絵カードは、学校給食で提供されている方をご使用</p>	
	<p>④「自分だけの牛乳パックをつくろう」 (A4版モノクロ) ※児童が牛乳の名前をつける、イラストを描く、という活動をとおして、学習を深めます</p>	
	<p>⑤児童用資料「牛乳はいつでも同じ味？」 (A4版4頁カラー) ※授業等での補助教材、調べ学習用資料などでご使用ください。</p>	